

藤田こうじ

プロフィール

昭和34年 山陽小野田市刈屋生まれ
 昭和50年 市立竜王中学校卒業
 昭和53年 県立小野田高等学校卒業
 昭和59年 東京理科大学工学部機械工学科卒業
 昭和62年 米ノースイースタン大学情報システム修士課程修了
 昭和63年 株式会社NTTデータ入社
 平成 3年 富士商株式会社入社
 平成24年 代表取締役社長就任
 平成28年 同退任
 平成29年4月24日 第2代山陽小野田市長就任

その他役員歴等

山口経済同友会代表幹事
 一般社団法人小野田青年会議所理事長
 小野田商工会議所青年部会長
 厚狭法人会青年部会長
 山口東京理科大学非常勤講師(リーダーシップ論)
 山口県経営者協会OTIS(後継者・若手経営者の会)会長 等

- 家族 妻と娘3人
- 趣味 読書、音楽(ロック)、ゴルフ
- 好きな言葉 志動
(強い志をもって機敏に動く)
- 尊敬する人物 吉田松陰
- 好きな食べ物 蕎麦

スマイルシティ山陽小野田

4年間の歩み

2017年(平成29年)
 第二次山陽小野田市総合計画(前期基本計画)を策定

2018年(平成30年)
 前期基本計画をスタート(シティセールス課を設置)
 山口東京理科大学薬学部が開学
 子育て総合支援センター「スマイルキッズ」がオープン
 第7回現代ガラス展を開催
 市のロゴマーク・イメージカラーを策定
 学校給食センターが完成

2019年(平成31年/令和元年)
 「スマイルプランナー」登録制度を開始
 「スマイルエイジング」取組みを開始
 新斎場が共用開始
 小中学校にエアコンを設置
 「スマイルハロウィン」を開催

2020年(令和2年)
 新型コロナウイルス感染症の対応
 埴生小中一貫校、公民館・支所・児童クラブが一体となった施設を開設
 LABV(官民協働開発事業体)による新商工センター合同記者会見を実施
 第8回現代ガラス展を開催
 山口東京理科大学を軸とした小中高大の包括連携協定を締結
 「GIGAスクール」を推進中
 「協創によるまちづくり」推進指針を策定中

藤田こうじ後援会事務所

〒756-0834
 山陽小野田市大字小野田6289-1(共同産業ビル内)
 TEL.0836-83-8837

藤田こうじ

ふじた



持続可能な地域社会のために

スマイルシティ
山陽小野田

未来に向かって スマイルシティ山陽小野田

私たちのまちでは、常に新しい物語が生まれ、広がり、そして変化し続けています。

人口減少に歯止めをかけ活力向上をめざす地方創生、また人生百年時代の到来に向けた新しい人生設計や昨年来のコロナ禍にあって新たな生活様式が求められるなど、これからの社会はさらに大きな変化を余儀なくされます。この「令和維新」とも言われる新たな時代を切り拓くためには、デジタル化の推進とあわせて、若い世代の創造・発想力と、先輩世代の知識や経験による知恵の結集が欠かせません。

今こそ市民、各種団体、学校・大学、企業が、それぞれの役割や責務を果たしつつ、これまで積み上げてきた相互のつながりを更に融合させながら、新たな価値を創造していくことが大切だと考えています。そして、それを確立していくのが「協創」であり、その源は個々のまちを愛する心（シビックプライド）やスマイルプランナーをはじめとするひとの力・チーム力です。

様々な立場や視点を持つ者同士が相互に認め合い、高め合うこと、つまり「多様性」を取り入れることで、違うからこそその視野の広がりや発見があり、イノベーションが生まれる。「協創」はまさにそうした考え方であり、そのことを通じて、市民の「住みよい暮らしの創造」も、持続可能な地域社会づくりも実現できると確信しています。

私たちの山陽小野田市が「活力と笑顔あふれるまち」として、未来に向けて確かな存在感を保ち続けるために、今こそ必要な取り組みを多彩なチームの総合力でひとつひとつ達成して、持続可能な地域社会の実現を図り、みんなの「住みよい暮らし」そして「スマイルシティ山陽小野田」を創り上げていきます。

1 地域を創ります

多彩な人々による地域のつながりや支え合いの仕組みづくり（RMO：地域運営組織）は、持続可能な地域づくりに向けて欠かせないものであり、その交流拠点や核づくりを進めていきます。

これは住民生活だけでなく、産業振興をはじめとする活力ある地域経済の循環やにぎわいの創出、安心安全なまちづくりや災害に強いまちづくりにもつながるものです。

2 ひとを創ります

人生100年時代、自らの可能性を求め、夢や希望、生きがいを抱いて人生を歩むことは、一人ひとりにとっての喜びになります。そのためにも、妊娠期から始まる一貫した子育て支援や学校教育の振興、小中高大の教育連携や生涯にわたる学びを支援します。

また、健康寿命の延伸を目標としたスマイルエイジングの取り組みを推進していきます。

3 まちの価値を創ります

多くの人から選ばれるまちとなり、交流・定住人口を増やすためには、そのまち自体に求められる価値が必要です。

温暖な気候や交通の利便性、災害が少ないといった地域特性に加え、住みよさも高く評価されており、その良さや特色、強みをさらに高めながら市内・外に届け、実感してもらう必要があります。

あわせて文化（ガラス、かるた）やスポーツ（レノファ、パラサイクリング）さらには山口東京理科大学を軸とした産学公民連携やLABVによる取り組みなど、新たな価値を創り、このまちのブランド力を高めていきます。

サステイナブル スマイルシティ

Sustainable Smile City